



井原市民病院 まいづる連携だより

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番地
井原市民病院内 地域医療連携室
TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

第 5 回まいづる連携連絡会報告

第 5 回「まいづる連携」連絡会を平成 26 年 9 月 17 日（水）18：00～19：00 井原市民病院、理学療法室で開催しました。今回は、『井原市民病院 外来受診について～困っていること伺います～』と題して日頃外来受診された際にいろいろ困っていることを直にお聞きする場として企画しました。

やっぱりそうだったといったというご意見や職員では気がつかないこと、いろいろグループワークの中で教えて頂きました。ハード面等ですぐ解決に結びつくには難しいご意見もありましたが、職員の努力で何とかご意見に対応できるものもあり、今回のご意見・ご提言を活かして外来受診がスムーズに流れるように努力していきたいと思えます。そして今後もご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

また、吉備国際大学の学生さんの実習期間中で地域連携の実際をお勉強して頂ける機会となりました。グループで同席させて頂きありがとうございます。

今回の参加者は、総勢 75 名、（うち学生参加 7 名含む）たくさんのご参加ありがとうございました。

※今回の意見交換内容まとめ

外来受診に関する多くのご提言を頂いた。

待ち時間に関するものが約半数、診療の工夫が必要なもの、リハビリ受診に関するもの、施設設備に関するものであった。下記にその項目要点をまとめる。

- ・待ち時間が長時間になり大きな負担をかけていることに関して待ち時間を有効にする何らかの工夫を施し対応が求められている。
また声かけなどの診療状況がわかる工夫が必要である。
- ・認知症のある単独患者へ介護と医療側をつなぐ情報源をノートの活用を行っていく。
- ・診療を行う際の配慮に関することに対してスタッフへの教育の必要。
- ・入院する際の患者に付き添う家族、介護職員への配慮に関すること
情報伝達の工夫、付き添っている家族・介護者等が帰るタイミングに関する声かけに配慮が必要。
- ・通所リハビリについて 診療情報提供書依頼する際、定型文があったらよい。
- ・施設設備等改善策について すぐ対処できるものは早急に対応する。ハード面で対応不可能なことは今後の課題として随時検討していく。
- ・胃瘻交換等での予約がとりにくい。また実施時に配慮が足りない事例もある。地域連携パスの運用について胃瘻パスの通信欄を活用するように努めていく必要がある。



主なご提言についての回答・対応策の案について

第 6 回まいづる連携で詳細なご回答を行っていききたいと思います。

吉備国際大学の地域看護実習に協力ありがとうございました。
学生さんより感想頂いていますのでご披露します。

※まいづる連携へ参加して・・・ 保健医療福祉学部 看護学科 4年 北村多真美

『まいづる連携』に参加させて頂き、今までは看護師の仕事や保健師の仕事を学ぶことがほとんどだったが、病院としての取り組みを初めて学ぶことができた。ある題材に対して病院で働く側、外来に患者さんと来る側といろいろな視点で大切なことだと思った。外来にピアノが置いてあるのに気づいていたが、待つ人の気分転換のためということを知り、病院での取り組みが熱心に行われているのだと感じた。大学病院など大きな病院では多くの方が待つのが当たり前だと思うことがあったが井原市民病院ならではの素晴らしい取り組みだと思った。

外来で待たないということは医師が不足する中で不可能かもしれないが、負担を軽減し環境の工夫や声かけの必要性気づき、改善につなげることでよい病院、患者さんの安心できる病院に作り上げていると思う。



事務局の連絡事項について

- ① 介護連携指導書発行した際、なるべく発行翌月末までにはケアプランの提出にご協力ください。
- ② 次回 11月17日(月) まいづる連携開催日が記したカレンダーに誤りがあるためご注意ください。
- ③ 12月開催企画 PRして頂ける事業所・施設募集について案内を行いました。
- ④ 11月16日(日) 病院『健康まつり』の案内を行いました。